

## 積極的に全国展開図る

タイルフィックス工業会設立  
会長に中坂勇二氏

外壁タイル剥落防止システム「タイルフィックス工法」の普及に向けて、東邦建材(東京都中央区、野口博司社長)は19日、「タイルフィックス工業会」を設立した。高度経済成長期に建設されたオフィスビルやマンションなどの外装タイルが劣化する今後、廃棄物の発生を抑制し、省資源で環境にやさしい部分補修工法として全国展開を目指すもので、会長にはリーテ



会長の中坂勇二氏

ック(松山市)の中坂勇二社長を選出した。同工法は、ステンレス製特殊アンカー(タイルフィックス)と専用エポキシ樹脂によって、浮きタイルを下地躯体へ直接固定するもの。浮きタイルの撤去や廃棄の必要がなく、省資源で環境にやさしい工法として、販売代理店網の整備を進め、積極的に全国展開を図る。19日に都内で開かれた設立総会では、役員として中坂会長はじめ、荒金憲一(栃木アンカー工業)、神田晃(コーワ)、岡田氏の副会長、岡田広幸(中国富士化工建設)理事、本多透(建設塗装工業)監事を決定。

全国から参集した30会員を紹介するとともに、施工技術講習会、技術開発、工法拡販推進といった事業計画を承認した。

中坂会長は「いま求められている技術」として、工法開発にかかわった功労者をたたえ、難波建築研究室の難波蓮太郎社長が「工業会が運命共同体として一体となり、工法を広げていきたい」、東邦建材の野口貴由副社長が「血と汗と涙でこの日を迎えた。大事なところから」とあいさつ、維持補修の時代に積極的に拡販していく考えを示した。

問い合わせは東邦建材  
電話03(35553303)  
2691まで。